

報告：第4号

3月4日（月）01 廣瀬集一 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（一括方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1	黒平地域の水源林の教育的価値観について	教育長	3
2	市民いこいの里の活用について	産業部長	4
3	市道 羽黒千代田湖線の整備について	まちづくり部長	5
4	「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への取組について	市長	1
5	今後の観光施策の展開について	市長	2
6	「日本ジオパーク」への登録について	企画財務部長	6

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

黒平地域の水源林の教育的価値観について

- (1) 質問者 廣瀬 集一 議員（こうふ未来）
- (2) 質問日 3月4日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

「市民いこいの里」を活用するためにも、甲府市のおいしい水の源流となる黒平地域をあらためて児童生徒の学習の場として活用することにより、将来に向かって水源地の理解と保全・育成に貢献できると考えます。この水源林の教育的価値観についてお聞きします。

(6) 答弁内容

- ・子どもたちが水源林の役割や重要性について学ぶことは、大変、有意義なことだと考えております。
- ・小学校4年生の社会科の授業においては、市内の水源地や水源林の働きなどについて学習するとともに、校外学習では、平瀬浄水場や荒川ダムを見学し、水道水ができるまでの過程を学んでいます。
- ・今後も、こうした学習を通して、水資源の大切さや自然環境の保全への理解を深めてまいりたいと考えております。

報告：第4号

3月5日（火）08 清水英知 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	福祉計画の策定に向けて実施したアンケート調査について	福祉保健部長	1
1-3	「子ども・子育て支援計画」に関するアンケート調査について	子ども未来部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	学校給食費の無償化について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	補聴器購入への助成について	福祉保健部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2	介護保険について	福祉保健部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	福祉施設などへの経済的な支援について	福祉保健部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
6-1	市内事業者に対する物価高対策について	市長	1

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食の無償化について

- (1) 質問者 清水 英知 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

県内で学校給食を無償化する自治体がさらに増えたことについてどのようにお考えですか。学校給食を無償化することを求めます。

(6) 答弁内容

- ・本市の学校給食費につきましては、学校給食法により、保護者の皆様には食材費のみをご負担いただいております。
- ・本市では、就学援助制度により学校給食費や学用品費などの支援を行っており、また、昨年度に引き続き、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分を負担しております。
- ・県内外において、学校給食費の無償化を実施している市町村があることは、承知しておりますが、今後も、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努めてまいります。
- ・今後は、国の「こども未来戦略方針」における、学校給食費の無償化に向けた具体的方策の検討や、山梨県の「人口減少危機対策パッケージ」における給食費無償化を実施する市町村への支援検討について、その動向を注視してまいります。

報告：第4号

3月5日（火）09 末木咲子 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	手話言語の利用促進と障がい者の情報取得やコミュニケーションの向上について	福祉保健部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	自殺対策の推進について	保健衛生監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	多文化共生について	市長	1
3-2	日本語指導が必要な児童生徒への教育的支援について	教育長	2
3-3	母子保健事業における外国人住民への対応について	子ども未来部長	3
3-4	外国人住民への災害対策について	危機管理監	4

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

日本語指導が必要な児童生徒への教育的支援について

- (1) 質問者 末木 咲子 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

在留外国人が増加し、国籍も多様化する中、本市の小中学校においては、個別に日本語指導が必要な児童生徒に対し、どのような指導を行なっているのでしょうか。その際、児童生徒や家庭の実態把握等の観点から“外国人個人カルテ”などを使って、学校においてきめ細かな支援が受けられるようにしていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

また、長期間にわたって日本に滞在する外国籍や外国につながりがある児童生徒が増えてきていることから、特に中学校においては、高校進学やキャリア教育に係る長期的な支援が必要であると考えますが、お考えをお聞きいたします。

(6) 答弁内容

・本市では現在、個別の日本語指導を必要とする児童生徒は、32の小中学校に118名おり、7名の県費負担の日本語指導教員が各学校を巡回し、週に1、2時間程度、別室で「特別の教育課程」や「個別の指導計画」に則り、児童生徒の実態に応じた指導を行っております。

・来日間もない児童生徒に対しては、中国語やベトナム語など、6か国語について、それぞれ堪能な方9名を日本語指導員として市単独で雇用し、きめ細かな指導・相談に努めております。

・中学校におけるキャリア教育や進路指導につきましては、授業における職業調べや職場体験などを行うとともに、個々の進路を決定する際の通訳の同席や高校入試に係る外国籍生徒等における必要な情報の提供などに、努めているところであります。

報告：第4号

3月6日（水）10 鷹野弘貴 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	人口減少対策について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	少子化対策における子ども・子育ての取組について	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	「甲府市児童生徒支援センター すてっぷ」について	教育長	1
3-2	「校内教育支援センター ほっとルーム」について	教育長	2
3-3	「甲府市不登校総合対策検討委員会」の取組について	教育長	3

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	環境に配慮した農業への取組について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	通学路における安全対策について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
6-1	「自治体DXの推進」の進捗状況について	行政経営部長	1

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「甲府市児童生徒支援センター すてっぷ」について

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

昨年4月に開設した「児童生徒支援センターすてっぷ」について、6月定例会で4月から5月にかけて32件の不登校の相談を受け付けたと答弁がありましたが、その後の相談件数や取組の成果、その結果に基づく今後の取組についての見通しや課題についてお伺いします。

(6) 答弁内容

- ・「すてっぷ」における今年度4月から1月までの相談件数は503件で、そのうち不登校に関する相談は109件となっており、指導主事が中心的な役割を果たす中で、学校や「あすなろ学級」等とも連携を図りながら、効果的な支援に繋げております。
- ・こうした取組により、あすなろ学級に通っていた生徒が在籍校へ登校できるようになるなど、目に見える成果が出てきている状況であります。
- ・今後におきましても、これまでの好事例などを評価・検証し、迅速できめ細かな支援に繋げるとともに、相談支援等を未だ受けていない不登校児童生徒もいることから、学校等と連携し、児童生徒・保護者とも連絡を密にとりながら、一人でも多くの悩みを抱えた児童生徒の支援を行ってまいります。

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「校内教育支援センター ほっとルーム」について

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

今年度から中学校2校を不登校対策に係る指定校とし、市単独雇用の不登校担当教員を配置した「ほっとルーム」では、2校で16名の生徒が常時又は随時活用し、学んでいると6月定例会でご答弁いただきましたが、その後の具体的な活用状況とこれまでの成果についてお伺いします。また、「ほっとルーム」がどのように生徒の学びや成長をサポートしているかお伺いします。

(6) 答弁内容

- ・本年度から市内中学校2校を不登校対策推進校とし、それぞれの学校に校内教育支援センター「ほっとルーム」を設置し、自分のクラスに入りづらい生徒が落ち着いた空間の中で、学習や活動ができる場の提供を行っております。
- ・本年1月現在、2校で31名の生徒が「ほっとルーム」への入級の申込みを行い、毎日、5～10名が、自らが選んだ学習等を行っております。
- ・「ほっとルーム」では、担当教員が、生徒の悩みや今後の希望等をゆっくり丁寧に聞くとともに、友人と直接話をする事や教員の声掛けなどにより、休みがちだった生徒が、ほぼ毎日登校して、学習できるようになるなど、不登校の状況が改善傾向にある生徒は、2校で14名おります。
- ・今後におきましても、誰一人取り残されない学びの保障に向け、個々のニーズに応じた受け皿を充実させ、子どもたちが未来を担う社会の一員として成長していけるよう応援してまいります

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「甲府市不登校総合対策検討委員会」の取組について

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

「甲府市不登校総合対策検討委員会」については、長期に渡って学校を欠席している児童生徒への社会的自立に向けた支援や、不登校に係る保護者向けのリーフレットの作成を進めていると聞いております。これまでの「甲府市不登校総合対策検討委員会」が行った取組の成果と課題、今後の取組についてお伺いします。

(6) 答弁内容

- ・「甲府市不登校総合対策検討委員会」では、不登校の未然防止や初期対応、自立支援、家庭支援といった視点から、それぞれの具体策の検討を進めてまいりました。
- ・不登校の未然防止としては、1人1台端末を活用した児童生徒の心身の状況を把握する仕組みを試行的に導入しました。
- ・初期対応としては、不登校に係る支援が必要な児童生徒の把握のために活用してきた「個別支援カード」の見直しや電子化を進め、来年度から各小中学校に導入する予定となっております。
- ・自立支援として、市内3か所に設置している「あすなろ学級」の入級手続きの簡素化を行い、今年度から運用しました。
- ・家庭支援として、不登校に係る相談窓口等の情報を提供するための保護者や児童生徒向けのリーフレットを作成し、来年度早々に配付することとしております。
- ・今後におきましても、本委員会の効果的な運営を継続し、子どもたちの将来の社会的自立に鋭意努めてまいります。

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

通学路における安全対策について

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

甲府市内の通学路において、安全対策が必要だとされた箇所の数と、そのうち何割が対策され、ゼロになったかについてお伺いします。本市がどのような対策を実施してきたか、また、それらの対策がどの程度有効であったかについての評価もお伺いできればと思います。また、安全確保に向けた取組を進める上での課題や問題点があれば、お伺いできればと思います。

(6) 答弁内容

・令和3年度の千葉県八街市の事故を受けて行った合同点検では、本市において対策が必要な箇所は220箇所、対策済みの箇所は、本年2月末時点で207箇所、約94%となっており、固定型のコーンの設置や学校による注意喚起など、暫定的な対策を含めた対策済みの箇所は218箇所、約99%であり、今年度末までには、全て対策済みとなる予定となっております。

・具体的な対策としましては、本市をはじめ、国・県の道路管理者においては、グリーンベルトの新設・再塗装や学童注意などの路面表示、カーブミラーの設置等を行い、警察においては、交通取締りや、横断歩道、一時停止線の新設・再塗装などを実施し、現時点で効果的な対策を講じてきたところであります。

・こうした取組については、甲府市通学路安全推進連絡会議において、課題となっている歩道の新設工事などの早期の対策実施が難しい暫定的な対策の箇所も含め、進捗状況や対策後の有効性について、確認を行っているところであります。

・今後におきましても、関係機関との連携を一層強化するとともに、登下校の見守りなど、保護者や地域の皆様のご協力をいただく中で、通学路における安全・安心の確保に鋭意、努めてまいります。

報告：第4号

3月6日（水）12 橋田大洋 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2	感震ブレーカー設置及び緊急告知戸別受信機の補助 制度について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1	指針及びガイドラインに基づく取組について	危機管理監	1
2-2	要配慮者に対する個別避難計画の現状と福祉避難所 等への直接避難について	危機管理監	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	認知症基本法成立に伴う本市の取組について	福祉保健部長	2
3-2	「甲府スタイル」の在宅医療・介護の体制づくりにつ いて	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1	天神山古墳の今後の保存方法と活用方法について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	農業をささえる施策について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
6-1	宅配ボックスの設置助成について	環境部長	1

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「天神山古墳」の今後の保存方法と活用方法について

- (1) 質問者 橘田 大洋 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 歴史文化財課
- (5) 質問概要

中道地区下向山町にある「天神山古墳」は、全長128mを誇る東日本最大級の前方後円墳であります。これまで一部で試掘調査が行われましたが、規模・構造と造られた年代をより正確に解明するための調査が必要であり、後世に正しく継承していくことが私たちの責務だと考えます。

そこで質問します。「天神山古墳」の今後の保存方法と活用方法についてお伺いします。

(6) 答弁内容

- ・「天神山古墳」については、これまでに、その保存と活用に向け、「甲府市文化財調査審議会」の答申を踏まえ、甲府市指定文化財にするとともに、実態を解明するための第一歩として、築造年代と構造等の概要を把握するための試掘調査を実施したところであります。
- ・その調査結果をもとに、シンポジウムや現地見学会を開催したほか、中道地区の小学校や文化協会、公民館などへ講師を派遣し、「天神山古墳」をはじめとした中道地区全体の歴史・文化を伝えてまいりました。
- ・今後におきましては、文献等による継続した調査研究や実態解明に向けた試掘調査の検討を行うとともに、「天神山古墳」の価値や魅力を周知することで、その保存と活用に繋げるため、市ホームページ・SNS等を活用した情報発信や市内小中学校での授業、歴史講座などを実施するほか、山梨県との連携による中道古墳群を巡る散策会の実施を検討してまいります。

報告：第4号

3月6日（水）13 岡田真姫 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1	5歳児健康診査について	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1 2-2	A E Dへの三角巾の配備と市内の設置場所の情報について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	中学校におけるキャリア教育について	教育長	1

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

中学校におけるキャリア教育について

(1) 質問者 岡田 真姫 議員（公明党）

(2) 質問日 3月6日

(3) 答弁者 教育長

(4) 担当課 学校教育課

(5) 質問概要

昨年、中央市田富中学校で行われた「学校ウエディング出前授業」を見学させていただきましたが、生徒達の参加する姿勢が積極的で、大変充実した授業でありました。

そこで質問します。新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、現在、中学校におけるキャリア教育はどのように取り組まれているか、また、今後の取組についても、お伺いします。

(6) 答弁内容

・本市では「甲府市学校教育指導重点」において、将来の生き方を見つめた体系的なキャリア教育の推進を掲げ、小中学校において、将来の夢や希望、働くことの意義や目的、自分の個性や適性の把握などについて、発達段階に応じた計画的な指導を行っております。

・令和2年度からは、「やまなしキャリア・パスポート」を活用し、自らの変容や成長を自己評価するなど児童生徒のキャリア形成を促し、将来の夢や希望の実現に向けた取組を進めているところであります。

・中学校においては、市独自に作成している「進路ノート」を活用し、職業の種類を知る学習や身近で働く人へのインタビューを行っております。

・コロナ禍で中断し、本年度より再開した2年生の夏休み職場体験においては、業務を体験することを通して、働く喜びや苦勞、必要な資格などについて学び、勤勞観や職業観を育んでおります。

・開府500年レガシー事業の「ドリームキャンパス」は、「夢の先生」からそれぞれの職業のやりがいや苦勞、夢を持つことや努力することの大切さなどについて、直接話を聞くことができる貴重な機会となっております。

報告：第4号

3月6日（水）14 山田弘之 議員 答弁資料目次（令和6年3月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	「山宮甲文館」と「あすなろ学級山宮本級」の跡地の活用について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	ひとり親家庭への支援について	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	フレイル予防の取組について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	あすなろ学級の増設とスクール・ソーシャル・ワーカーの増員等について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	消防団の広報誌の創設について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
6-1	住宅用太陽光発電システム等の助成金について	環境部長	1

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「山宮甲文館」と「あすなろ学級山宮本級」の跡地の活用について

(1) 質問者 山田 弘之 議員（無所属）

(2) 質問日 3月6日

(3) 答弁者 教育部長

(4) 担当課 歴史文化財課

(5) 質問概要

山宮町にある「甲府市奨学寮」は、宮本地区や黒平地区から市内の学校に通う学生寮として長年使用され、平成14年からは「あすなろ学級」と「山宮甲文館」の2機能を有した複合施設として使用されてきました。その後、建物の老朽化により、令和2年に「あすなろ学級」と「山宮甲文館」は岩窪町の北部幼児教育センターに移転したことにより、現在、建物は取り壊され更地となっています。

そこでお伺いします。更地となって約2年が経ちますが、今後、跡地の活用はどのように進めていくのでしょうか。また、土地の活用については、羽黒地区や跡地が立地する自治会への説明を行う予定はあるのでしょうか。当局のお考えをお聞きます。

(6) 答弁内容

・「山宮甲文館」及び「あすなろ学級山宮本級」の両施設につきましては、「甲府市公共施設再配置計画」に基づき、令和2年6月までに北部幼児教育センター内の未利用スペースへ機能移転いたしました。

・令和2年度に実施された「包括外部監査」において、「課題を整理したうえで、早期に普通財産へ変更し、利活用方針を策定すべき」との意見を受ける中、令和4年3月に、両施設の解体工事を実施し、現在は更地の状態となっております。

・跡地の利活用につきましては、「甲府市資産(土地・建物)利活用基本方針」により、自主財源の確保を目的とし、庁内の審議機関である「甲府市資産利活用推進委員会」に諮る中で、売却を決定し、現在は、それに向けた用地測量や雨水排水路の整備などを行っているところであります。

・今後におきましては、売却に向けた公募条件を定めるとともに、羽黒地区自治会連合会や、隣接する地元自治会への説明を行う中で、跡地の売却を進めてまいります。

報告：第4号

令和6年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

あすなろ学級の増設とスクール・ソーシャル・ワーカーの増員等について

(1) 質問者 山田 弘之 議員（無所属）

(2) 質問日 3月6日

(3) 答弁者 教育長

(4) 担当課 学校教育課

(5) 質問概要

現在、「あすなろ学級」は市内3か所に設置していますが、西方面の小中学校の児童生徒が夏の暑さ、冬の寒さもあって、通うことが遠くて大変というご意見があります。

そこで質問します。市役所西庁舎に「あすなろ学級」を開設して、スクール・ソーシャル・ワーカーを2名増員し、「すてっぷ」の分室として相談窓口を増設したらいかがでしょうか。当局の考えをお聞きます。

(6) 答弁内容

・市内3か所にある「あすなろ学級」においては、昨年度発足させた「甲府市不登校総合対策検討委員会」での協議を経て、入級手続きの迅速化や東分級のより広い部屋への変更など、環境等の改善に取り組んでいるところであり、本年度の「あすなろ学級」の利用状況については、1日平均、各学級3～4名程度となっておりますことから、今後も現状の体制で、より効果的な運営を図ってまいります。

・甲府市児童生徒支援センター「すてっぷ」に配置しているスクール・ソーシャル・ワーカーについては、文部科学省が示す本市における活動時間の目安である週60時間程度を2名で確保したうえで、学校訪問や電話相談により状況等を把握し、家庭や児童生徒への支援を行っているところであります。

・今後におきましても、「すてっぷ」における現行の相談・支援体制を維持する中で、スクール・ソーシャル・ワーカー等が「あすなろ学級」と緊密な連携を図りながら、不登校児童生徒の学びを深め、将来の社会的自立に繋がることを目指し、鋭意、取り組んでまいります。

報告：第5号

3月13日（水）02 鈴木 篤 議員 答弁資料目次（令和6年3月 予算特別委員会）

1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	都市像の実現に向けた重点的な取組について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	教育ビッグデータの利活用について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	誘客促進に向けた取組について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	障がい者への支援体制について	福祉保健部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	災害廃棄物の広域的な処理への対応について	環境部長	1

報告：第5号

予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

教育ビッグデータの利活用について

- (1) 質問者 鈴木 篤 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 3月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

本市におきましては、令和3年度に全児童・生徒に一人一台端末が配備され、学習支援アプリを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が進められ、子どもたちの意欲やICT活用の可能性を広げる取組が展開されており、今後のICTを活用した一層の取組に期待したいところであります。

令和6年度の新規事業である、一人一台端末上のあらゆるデータの蓄積、分析により、個別最適な学びへと繋げる教育ビッグデータの利活用について、お聞かせください。

(6) 答弁内容

- ・今年度、本市では、教育ビッグデータの利活用に係る実証校を3校指定する中で、AI型ドリルをはじめ、端末アプリを活用した学習等の履歴をデータ化し、端末に一覧で表示することにより、その利用状況を可視化し、児童生徒が自分の学習の状況や生活の様子を振り返るとともに、教員が、その後の学習指導や生徒指導に活用してまいりました。
- ・不登校児童生徒やいじめの認知件数が増加する中、児童生徒がその日の気持ちを端末アプリに入力することにより、教員が心身の状況を把握し、不登校やいじめの早期発見・早期対応に繋げるなどの取組を進めてまいりました。
- ・遅刻や欠席等の管理をオンライン上で行うことにより、休みがちな児童生徒への適切な指導・支援や教員の多忙化改善に活用してまいりました。
- ・来年度は、こうした実証結果を踏まえ、市内全ての小中学校で実施していくこととしております。
- ・今後は、教育ビッグデータのより効果的な活用方法を検討・創出する中で、個別最適な学習環境等の構築を更に進め、新時代の特色ある学びづくりに努めてまいります。

報告：第5号

令和6年3月25日

甲府市議会議長 坂 本 信 康 様

予算特別委員長 深 沢 健 吾

報 告 書

去る3月6日の本会議において、当委員会に付託されました令和6年度甲府市各会計別予算14案及び条例16案について、3月13日から21日まで9日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

(中略)

次に、各条例案の審査の経過と結果について申し上げます。

(中略)

議案第23号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

(中略)

の14案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

次に、令和6年度各会計別予算案の審査の経過と結果について主な内容を申し上げます。
まず、一般会計予算について申し上げます。

(中略)

報告：第5号

次に、一般会計歳出について款を追って申し上げます。

(中略)

教育費については、教育ビッグデータの利活用についてただしたのに対し、蓄積されているデータを分析し、児童・生徒の学びの状況を可視化することで、各学校における授業等の改善に役立てていくとの答弁がありました。

また、こうふ開府の日記念事業についてただしたのに対し、こうふ開府の日が市民の方々に認識してもらえるようプロモーション活動を行うとともに、中心街のにぎわいの創出にもつながるよう関係部局とも連携する中で、魅力ある記念イベントを実施していくとの答弁がありました。

(中略)

以上が令和6年度の一般会計、各特別会計及び各企業会計予算案の審査における質疑の概要であります。

(中略)

次に、採決の結果、

議案第 2号 令和6年度甲府市一般会計予算

議案第 3号 令和6年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算

議案第 5号 令和6年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

議案第 6号 令和6年度甲府市介護保険事業特別会計予算

議案第 7号 令和6年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算 及び

議案第12号 令和6年度甲府市水道事業会計予算の6案については、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

(中略)

報告：第5号

最後に、市長から、社会の正常化が着実に進む中、内閣府の月例経済報告においても「景気は緩やかに回復している」とされているが、実感としてはまだ薄く、食料品や光熱費など様々なコスト上昇は依然として市民の暮らしや事業者の事業継続に大きな影響を及ぼし続けていることから、引き続き社会経済情勢の変化を的確に捉える中で、市民生活の活発化や地域経済の活性化につながる支援策を機動的・弾力的に講じるとともに、第六次甲府市総合計画の集大成に向けた着実な推進及び次期総合計画への準備はもとより、KOFU NEXT ACTIONや県央ネットやまなしに係る取組を更に加速させ、力強く推進する中で、本市が掲げる都市像の実現に向け、全身全霊で取り組んでいくとの決意が述べられました。

以上が委員会審査の経過と結果であります。それぞれの審査日の質疑終了後に活発な委員間討議を行う中、来年度予算を執行する上で留意すべき点等を委員会の意見として、次のとおり集約しました。

議案第2号に対しましては、

(中略)

- 1 不登校対策については、既に効果が表れている校内教育支援センター「ほっとルーム」の拡大に取り組むなど、更なる支援の充実を図ること。

(中略)

以上を求めるものであります。

当局におかれましては、増加する新たな行政需要に対応するための安定した財源の確保や予算の適正な執行に努める中で、市民生活や地域経済を力強く後押しするための施策を講じていただきながら、本市が目指す都市像の実現に向け、残り2年となった第六次甲府市総合計画の各施策や事業の推進に、市長と職員が一丸となって取り組まれることを期待し、報告を終わります。